

海から見た 21 世紀の国土ビジョン研究



健全で回復力のある海



生産的な海

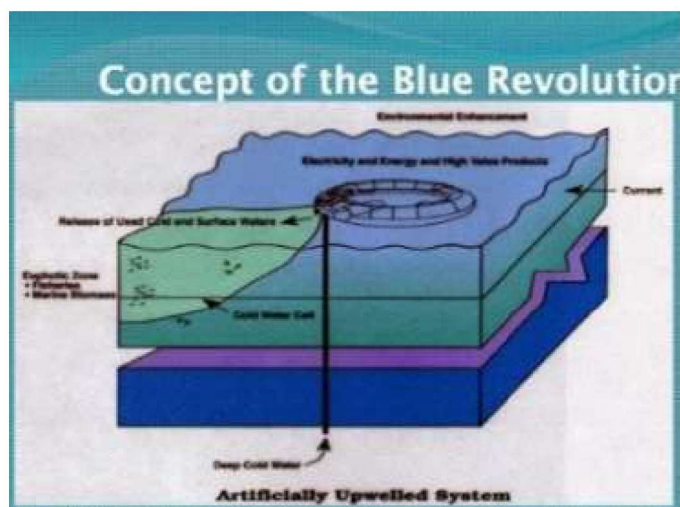


予測できる海

期間:2016 年～

機関:NPO 法人海ロマン 21、佐賀大学海洋エネルギー研究センター、海洋深層水利用学会、一般社団法人国際海洋資源エネルギー利活用推進コンソーシアム(Ocean Thermal Energy Conversion Association Institute: GOSEA)

「21 世紀は新しい海洋文明発展の時代である」との理念のもとに、人類共有の財産である海の偉大性、多様性に関する知識を究め、その成果を広く多くの人々に紹介するために、海に関する研究および教育者の支援や海洋資源・エネルギー研究会を主宰します。中でも、GESAMP(海洋における地球温暖化抑制のための地球工学的手法のアセスメントを行う国連合同専門家会合)の報告書で取り上げられている、大量の深層海水のくみ上げによる海洋表面水温の低下による台風減衰に関して、日本周辺海域での効果について検討を集中的に進めています。



ハワイ大学 P. Takahashi 名誉教授らが提案している海水資源利用を軸にした「Blue Revolution」の概念図

参考:海ロマン 21 ウェブサイト(<http://ur21.net/ur21/k-bunkakai.html>)

GOSEA ウェブサイト(<http://www.gosea.info/jp/>)